



## 病院理念

『より質の高い 心あたたまる医療の実現』

## 基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
2. 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
3. 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
4. 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
5. 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
6. 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

## 院内広報誌『ふれあい』

患者様ならびにご家族の方々に病院をよく知っていただき職員と患者様の交流の場となる誌面をめざしています。

千歳市北光2丁目1番1号  
市立千歳市民病院  
編集長 大田 光仁  
事務局 総務課  
0123-24-3000(内線 8238)

# 病院での転倒事故について



皆さんは入院中に転倒する人が 1 年間でどれくらいいるかご存知でしょうか？  
2017 年度の 1 年間で千歳市民病院での転倒事故件数は、入院患者さんが 144 件、  
外来患者さんが 23 件、合計 167 件でした。転倒の割合は 1000 人に 3 人程度です  
が、2～3 日に 1 人は転んでいることになります。

## なぜ転んでしまうのか？

転倒の原因は様々ですが、主に入院による環境の変化や病気や怪我、長期臥床による  
身体機能低下、熱発や薬剤による影響などが考えられます。

転倒することによって患者さん自身が痛い思いをするだけでなく、痛みのため必  
要以上に入院が長引いたり、骨折によって手術が必要になったり、中には生命予後に  
かかわる場合もあります。

そのため、入院中に転倒しないための取り組みが非常に大切となります。

## 当院での転倒事故への取り組み

市民病院では医療事故防止の為に医療安全管理室という所が中心となり、様々な事故防止の為に活動をしています。その関連組織に安全管理委員会や看護部医療安全対策委員会、セイフティマネジメント部会という組織があります。このセイフティマネジメント部会の中に転倒転落事故防止を専門的に取り組む多職種で編成された医療チームがあります。

この転倒転落対策チームは現在、転倒対策として『転倒ラウンド』という活動を行っています。それは、転倒した患者さんに対して聞き取り調査を行い、転倒原因を分析し転倒事故防止の為に対策を考え実施しています。今回その『転倒ラウンド』で学んだポイントをいくつか紹介したいと思います。

### どんな人がいつ転ぶ？

入院してすぐの人（1日目、2日目が多い）

機能低下を起こしている人

トイレに行くとき

転倒が多いのは、トイレに行くときです。早くトイレに行きたいという心理も働くため、ご自身や環境などの状況把握が出来ていないうちに転んでしまいます。

また、入院してすぐは具合も悪く、熱発などにより運動機能低下を起こしているのですが、今まで歩けていた人は、ついこの前まで出来ていた事だから当然歩けると誤ってしまいます。しかし、実際は病気によって運動機能が低下し、臥床による筋力低下も起こっており、今まで出来ていた事が出来なくなっているのです。

## 転ばないために

入院した時に転ばないためのポイントは？

とにかくいつもより慎重になる事が大事です。

ちょっと変だなと思ったら…。

### 1. 遠慮なく看護師さんと呼ぶ

看護師さんの迷惑になるから遠慮して呼ばない

方も多いと思います。しかし、転んでしまうと転倒後の処置や治療、経過観察が必要になったり、転倒の報告書を書いたりともっと大変な事になってしまいます。

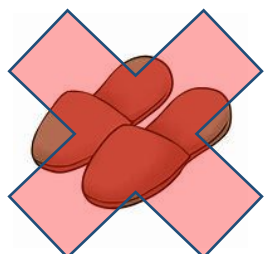
### 2. 歩行器や車椅子を使う

歩行器を使うと歩行はかなり安定します。具合が悪い時は積極的に使うようにしましょう。車いすを使えばさらに安全です。



### 3. 面倒がらずにスリッパではなく運動靴をはく

スリッパは簡便に履くことができる分、とても脱げやすく踏ん張りも効きません。足の悪い人は運動靴やリハビリシューズを履くことが大切です。



### 4. 普段よく使う物は床頭台ではなくオーバーテーブルの上に置く

病室のベッドで遠くにある物を無理に取ろうとしてバランスを崩してしまうことがあります。普段使用する物は手の届きやすいオーバーテーブルに置くようにしましょう。



床頭台



オーバーテーブル

## 転倒予防体操の紹介 ～毎日運動する習慣を～

足の筋力が弱くなると転倒しやすくなります。  
普段から転倒予防として、筋力トレーニングを行うことが大切になります。

**悪い姿勢の人も要注意！**  
背中、腰が丸くなると足が拳がりにくくなり、転倒しやすくなります。

# 足の踏ん張りが効くように 痛みのない範囲でちょっと疲れるくらいが効果的

## 座って行う下肢の筋トレ



足趾の運動、タオルギャザ



足首の運動、つま先上げ



膝の運動、膝伸ばし

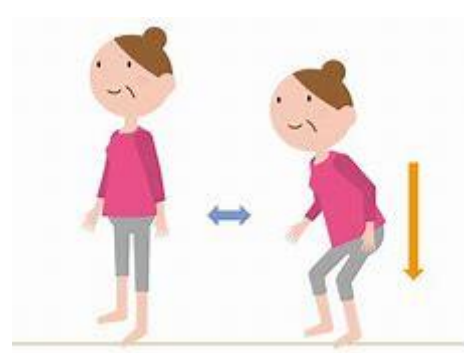
## 立って行う下肢の筋トレ



つま先立ち



椅子からの立ち上がり



ハーフスクワット



姿勢が良くなるように 痛みがなく心地よい程度で



腕を組んで後ろにそらす



四つ這いになって背中を伸ばす

**転倒事故は看護師だけでは防ぐことは出来ません！  
患者さん、家族、病院職員全員が力を合わせて！  
皆で協力して防ぐことが大事です。**

文責 リハビリテーション科 平井

#### <編集後記>

これから本格的な冬を迎え、また段々と寒くなっていきます。そして入院患者さんが多くなる時期になってきました。今回は、普段セイフティマネジメント部会で行っている活動を知ってもらおうと思い、院内での転倒転落事故について書かせて頂きました。転倒転落予防は啓蒙活動が大切なため、出来るだけ多くの人に知って欲しいと思います。それでは、寒さに負けず体調を崩さないよう、健康管理に気をつけてお過ごしください！

リハビリテーション科 平井

# 患者様の権利と責任

当院では、患者様の人権を尊重し、患者様と医療従事者が信頼と協力のもと、より質の高い心あたたまる医療を実現するため、『患者様の権利と責任』を定めています。

## 1 医療を受ける権利

どなたでも公平に、安全で適切な医療を継続して受けることができます。

## 2 知る権利

ご自分の病状や検査、治療について、理解し納得できるまで十分な説明を受けることができます。また、ご自分の診療録(カルテ)の開示を求めることができます。

## 3 自分で決定する権利

十分な情報提供を受けたうえで、ご自分の意思により検査や治療に対する同意や選択、拒否を決定することができます。

また、他院の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求めることができます。

## 4 プライバシーの権利

診療の過程で得られた個人情報や病院内での私的なプライバシーが保護されます。

## 5 参加と協力の責任

これらの権利を守るため、患者様には医療従事者とともに医療に参加し、協力することが求められます。

- ① 現在の病状や過去の治療歴について、できるだけ正確に教えてください。
- ② 検査や治療は、必要性和安全性を十分理解したうえで受けてください。
- ③ 他の患者様の権利を尊重し、職員の業務に支障をきたさないよう、病院内のルール・マナーを守ってください。
- ④ 医療費の請求を受けた時は、速やかにお支払ください。
- ⑤ 臨床研究や医療従事者の教育にご理解のうえ、ご協力をお願いします。

『患者様の権利と責任』について、何かご意見がありましたら承りますので、ご遠慮なく医師、看護師、その他の職員もしくは【患者様相談窓口：1階医事カウンター①番窓口】までお知らせください。

患者様からいただきましたご意見を尊重し、日常の診療の改善に役立てたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。